



校長室だより 一步一步



例年より9日ほど遅いようですが、冬将軍がやってきました。やはり雪がふる時の寒さは違いますね。今年は昨冬のような大雪でないことを祈るばかりです。

学校も冬じたくをしました。防球ネットをはずしたり鉄棒をはずしたり、サッカーゴールを片付けたりしました。例年のようにシルバーの方々、学校の雪囲いもしてくださいました。ありがたいことです。子ども達はかれ葉などをきれいにするために外掃除を行いました。みんな一所懸命に掃除をがんばっていました。とてもよい姿と思います。



長かった二学期もあと一週間です。連絡簿渡しでは、子どもの成長のために担任といろいろな話をさせていただけたらと思います。学習のまとめをしっかりと、よい冬休みを迎えてほしいと思います。

人権って何!?

14日に人権週間にちなんで白峰っ子集会をしました。そこで、次のような話をしました。(他の内容については、お子さんにお聞き下さい)

人権について学びましたが、その一番の根本は人間らしく生きることです。しかし、その生きるをやめてしまう人がいます。自殺です。人間を含め世の中の全ての生き物は、命を精一杯いきようとするのが自然です。しかし、人間だけは自殺をします。

とても悲しいことです。自殺する本人はとてもとても苦しみます、そして家族はとてもとても悲しみます。自殺だけは絶対にしてはいけません。その自殺を子どもがしたというニュースを見ることがあります。とてもとても心が痛みます。しかも、その原因が「いじめ」であることが多くなっています。大変なことです。いじめた人は殺人をしたと同じことになるのです。大変な罪です。もっと残念なことに、そのいじめを行った人は、自分を守るためか、「だって～だもん」とか「ちょっとふざけただけ」とか「みんながやっているから」などと言い訳をする姿が見られます。そして、たくさんのかかわっていることが多いので、「ちょっとだけだから」と言い、さも自分達は悪くないというような様子です。また、一人の人にいじめ続けられていた場合でも、周りは知っているても何もしようとはしなかったことが多いです。本当に楽しくふざけあっていたなら決して自殺なんかしません。おかしいと思う姿をほったらかしにしなければ、自殺までいかないのではないのでしょうか。



自殺なんて大変なことまではいかなくても、毎日の生活の中で友達の心を傷付けたり、いやなことをしてしまうことがありますか?ふざけているつもりでも、その時心の中に、「いじわるな心」や「バカにする心」

「苦しんだり、困ったりする姿を見て楽しむ」というような醜い心がありませんか？ 人間にはいろいろな心があります。そんな醜い心もあります。大人にだってあります。でも、普通の大人は、その心を出しませんし、たとえ思ってしまった人も人を傷つけません。

「いじめ」とは何かというと、いまは、『やられた人が、心や体に苦痛をかかっているもの』となっています。「いやだ」「辛い」「やめて」と思うことは全ていじめです。（もちろん、先生や家の人から、みんなのために言ったり、したりしていることは、みんなが「いやだ」と思ってもそれはいじめではないですよ）あるお笑いタレントの方が

次のようなお話をしていました。「お笑いにはいろいろあるけれども、その中にやさしい心がないとダメなんです。人の悪口や人をバカにしたお笑いは、はじめは受けてもだんだんだめになっていきます。あたたかい心や、やさしい心からのお笑いは長続きします。」と。醜い心が一杯の世の中は、きっととてもつらい世の中でしょう。白峰小学校には、いじめがなく、人の体や心を守るやさしい心がいっぱい学校になってほしいと思います。



よいお年を！！

今年もあと少しとなりました。各ご家庭の今年一年はいかがでしたでしょうか。4月から始まった今年度も2/3が終わります。いろいろなことがあります。子ども達は全てを経験として少しずつ成長していると思います。今年を振り返って、よいところは認め、はげまし、直すべきところは反省し、よくなるようにと思います。

除夜の鐘は、百八つの煩惱を除いて新しい年を迎えるものとも言われています。今年のおよくなかったことを除いて、新しいよい一年を迎えてほしいと思います。

